

## 第2号様式

## 平成22年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申込書

## 1. 申込団体の概要および申込事業の計画等【公開対象】

ふりがな	ながおかし はんぞうがね く		
団体名	長岡市 半蔵金 区		
代表者氏名	(肩書:半蔵金区長) 柁澤 善一郎		
設立年月日	昭和 31 年 9 月 1 日	構成員数	102人
設立目的	半蔵金とともに生きる者として、共同活動を通じ良好な生活環境の維持及び形成に努める。		
これまでの活動実績	<p>○霜月五日に手打ちの蕎麦を食べる風習を活かして始めた「そば祭り」が11月と12月の各第1日曜日に開催するほどの盛況となり、2日間で1,200人の誘客に成功。新潟県一のそば祭りとなった。</p> <p>○昭和62年に「明るい家庭づくり推進モデル地区」に指定され、その中の一事業として「半蔵金誌」を発行。村の歴史や伝承、年中行事をまとめて全戸に配布した。</p> <p>○半蔵だよりを36年間発行してきたが、中越地震以後は休止となった。</p>		
添付資料	事業計画	・別添「第3号様式 事業計画書」のとおり	
	収支予算等	・別添「第4号様式 事業の収支予算書」のとおり	
	その他、団体をPRするパンフレット等	有 ・ <input checked="" type="radio"/> (無) (どちらかに○印)	

## 2. 申込団体の連絡先等【公開、非公開を選択※】

事務所所在地		【公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開】	
電話・FAX番号等	電話 FAX	【公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開】	
	Eメールアドレス		
担当者連絡先	氏名	【公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開】	
	住所		
	電話・FAX番号等		電話 FAX
			Eメールアドレス
添付資料	名簿またはこれに類するもの	・別添のとおり 【公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開】	
	規約またはこれに類するもの	・別添のとおり 【公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開】	

※ 個人情報保護の観点から、広く公開してもよいものなら“公開”に、そうでないものは“非公開”に○を付けてください。

※ 2の添付資料(名簿類・規約類)については、交付審査の際の資料として審査関係者に提示する必要があります。



## 事業計画書

事業名	半蔵金のご神木の「大杉」再生と地域の活性化
事業実施の目的	<p>中越地震で倒壊した市文化財の樹齢800年を数えた大杉の子苗がバイオテクノロジーで再生できたため、その子苗の植樹を行なう。</p> <p>半蔵金区民からご神木とあがめられていた大杉の復元により、区民の心が一つにまとまり、地震と過疎に悩み続ける地域の反転攻勢の起爆剤とする。</p>
事業内容	<p>再生したご神木の苗木の植栽をし、大杉のいわれを書いた立て看板を立て、小さなベンチを数脚置いて、その付近の小さな公園化を図る。公園を半蔵金区民の心のよりどころにするとともに、地域を訪れる人との交流の場として活用する。</p> <p>また、この大杉や大ケヤキ等の写真と大杉に伝わる伝説を載せた小冊子を作成し、半蔵金区民に配布する。</p> <p>合わせて、かつて活動弁士として一世を風靡した旧半蔵金村出身の人物の子孫による講演会を開催し、そのつながりを活かした地域活性化に努める。</p> <p>さらに、寒冷地の半蔵金区に適合した都茄子や辛味大根を植え、半蔵金区の特産品化を図る。</p>
事業実施までのスケジュール	<p>本年6月半ば以降に植樹会場の整地を行ない、整地が済みしたい植樹式と講演会を開催する。</p> <p>夏場に半蔵金区に適合した作物を植え、秋に収穫する。この作物に半蔵金の特産品としての根を張らせる。</p>
地域活性化の波及性	<p>半蔵金の「大杉」が倒木前に立っていたのは「守門神社」と「諏訪神社」の境内である。「諏訪神社」がこの地に建てられた理由は、後醍醐天皇の皇子の宗良親王とともに長野県の諏訪から越後に逃れてきた者たちが半蔵金の「守門神社」に合祀したものである。この神社の境内には抱き合った男女が接吻している「抱き地蔵」という珍しい石仏があり、地域内には鋸山や幾つかの峠もある。その峠や地域内に様々な石仏があり、戊辰戦争の哀話も伝わっている。こうした素材群をPRし案内役に市内の郷土史研究家を依頼して半蔵金に定期的に村外客を呼び込むイベントを開催する。これに大杉のいわれと子苗の植樹をからめれば非常に面白い過疎の村の一大活性化策になる。</p>

※ 事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙も可)

第4号様式

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
地域コミュニティ事業補助金(F)		400,000	
自己資金	区負担金	205,000	
特定財源	寄附金		
	参加費		
	その他収入金		
	小計(D)		
その他	区負担金		
合計		605,000	

支出の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
補助対象経費	報償費	60,000	記念講演会講師謝礼 50,000円 看板執筆謝礼
	旅費	20,000	講師旅費等
	需用費	90,000	記念誌 500×150部 コピー代金 消耗品代等
	役務費	14,000	郵便料 140×100部
	委託料	0	
	使用料	0	
	原材料費	316,000	会場設営関係資材 整地用重機及び敷土等 大杉説明看板1基・ベンチ5脚分
	小計(C)	500,000	
	補助対象外経費	需用費	105,000
小計(B)	105,000		
合計(A)		605,000	

